

○浜松医科大学大学院医学系研究科履修規程

制 定 平成 16 年 4 月 8 日規程第 77 号
最終改正 令和 7 年 7 月 17 日規程第 46 号

(趣旨)

第 1 条 この規程は、浜松医科大学学則(平成 16 年規則第 25 号。以下「学則」という。)第 40 条の規定に基づき、浜松医科大学の大学院の医学系研究科における授業科目及びその単位数、履修方法、試験、成績評価の方法等について定めるものとする。

(授業科目の種類及び単位数)

第 2 条 履修すべき授業科目の種類及び単位数については、別表第 1、別表第 2、別表第 3 及び別表第 4 による。

2 別表第 1、別表第 2、別表第 3 及び別表第 4 について、教育上必要があると認めるときは、大学院看護学専攻教授会、大学院医学専攻教授会又は光医工学共同専攻協議会(以下「教授会」という。)に諮って、学長がこれを変更することがある。

(履修届)

第 3 条 学生は、授業科目を履修しようとするときは、所定の様式による履修届を記入の上、所定の期日までに学務課に提出しなければならない。

(各授業科目の授業期間)

第 4 条 各授業科目の授業は、15 週にわたる期間を単位とする。ただし、教育上特別の必要があると認められる場合は、これらの期間より短い特定の期間において授業を行うことができる。

(授業方法等)

第 5 条 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

第 6 条 授業の方法及び内容並びに 1 年間の授業計画は、教育要項において明示するものとする。

(単位の計算方法)

第 7 条 授業科目の単位の計算方法は、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間以外に必要な学修を考慮して、次の基準によって単位数を計算するものとする。

- (1) 講義、演習については、15 時間又は 30 時間で別表第 5 に定める時間の授業をもって 1 単位とする。
- (2) 実験、実習については、30 時間又は 45 時間で別表第 5 に定める時間の授業をもって 1 単位とする。
- (3) 講義、演習、実験及び実習を併用する場合については、別表第 5 に定める算式により算出した時間数が 45 時間である授業をもって 1 単位とする。

(試験)

第 8 条 試験は、定期試験又は随時試験とする。

2 定期試験は、その授業の終了する期末に、一定の期間を定めて行うものとし、又、随時試験はその授業科目の担当教員が必要と認めるときに適宜行うものとする。

3 定期試験又は随時試験を病気、災害その他特別の事情で受験できなかった者に対し、追試験を行うことがある。この場合にあつては、追試験を志願する者は、授業担当教員に願い出て受けなければならない。

- 4 定期試験、随時試験又は追試験に不合格となった者に対する再試験は、原則として行わない。ただし、授業担当教員が特にその必要を認めた場合は、この限りでない。

(成績評価)

第9条 授業科目の成績評価は、授業科目ごとにあらかじめ示された基準に基づき、授業科目担当教員が試験その他の方法により学修の成果を評価して行う。

- 2 授業科目の成績評価は、秀、優、良、可及び不可の評語をもって表し、秀、優、良及び可を合格として単位の修得を認め、不可を不合格とする。ただし、1年次から2年次、又は1年次から3年次にわたって開設される授業科目で、2、3年次に総合評価されるものについては、1、2年次の評価をする場合に限り、合格又は不合格の評語をもって行うものとする。

- 3 前項に規定する評語と、その達成状況及び評点の対応関係は、次の表のとおりとする。

評語	達成状況	評点 (100点満点)
秀	学修目標を十分達成したものと認められ、特に優秀な成績を示す	90点以上
優	学修目標を達成したものと認められ、優れた成績を示す	80点以上 90点未満
良	学修目標の根幹的な部分を達成したものと認められ、妥当な成績を示す	70点以上 80点未満
可	学修目標の最低限は達成したものと認められる成績を示す	60点以上 70点未満
不可	学修目標の最低限を達成したとは認められない成績を示す	60点未満

- 4 合格した授業科目の成績は、変更しないものとする。

(単位の認定)

第10条 単位の認定は、教授会に諮って学長が行う。

(不正行為)

第11条 第8条に定める試験において不正行為と認められる行為があったときは、当該学期の履修登録単位をすべて無効とする。

(規程の改廃)

第12条 この規程の改廃は、教授会に諮って学長が行う。

附 則

- この規程は、平成16年4月8日から施行し、平成16年4月1日から適用する。
- 平成15年度以前に入学した者の授業科目及び履修方法等については、旧浜松医科大学大学院医学系研究科履修規程の定めるところによる。

附 則(平成18年4月13日規程第25号)

この規程は、平成18年4月13日から施行し、平成18年4月1日から適用する。

附 則(平成19年3月15日規程第31号)

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成20年2月14日規程第6号)

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(平成24年1月12日規程第29号)

- この規程は、平成24年4月1日から施行する。
- 平成23年度以前の入学者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 26 年 3 月 13 日規程第 17 号)

- 1 この規程は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 25 年度以前の入学者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 27 年 2 月 12 日規程第 18 号)

この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 29 年 11 月 6 日規程第 58 号)

- 1 この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 29 年度以前の入学者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 30 年 3 月 6 日規程第 24 号)

この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 30 年 12 月 13 日規程第 49 号)

この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(令和 2 年 3 月 6 日規程第 23 号)

この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(令和 2 年 9 月 17 日規程第 34 号)

この規程は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(令和 2 年 10 月 15 日規程第 36 号)

この規程は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(令和 3 年 3 月 8 日規程第 12 号)

- 1 この規程は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 2 年度以前の入学者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(令和 3 年 5 月 20 日規程第 46 号)

- 1 この規程は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 3 年度以前の入学者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(令和 4 年 1 月 20 日規程第 2 号)

この規程は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(令和 4 年 2 月 28 日規程第 21 号)

- 1 この規程は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 3 年度以前の入学者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(令和 5 年 2 月 9 日規程第 8 号)

- 1 この規程は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 4 年度以前の入学者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(令和 5 年 9 月 21 日規程第 38 号)

- 1 この規程は、令和 5 年 10 月 1 日から施行する。
- 2 令和 4 年度以前の入学者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(令和 6 年 1 月 19 日規程第 2 号)

この規程は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(令和6年6月5日規程第53号)

この規程は、令和7年4月1日から施行する。

附 則(令和7年1月17日規程第4号)

この規程は、令和7年4月1日から施行する。

附 則(令和7年3月7日規程第14号)

この規程は、令和7年4月1日から施行する。

附 則(令和7年7月17日規程第46号)

この規程は、令和8年4月1日から施行する。

別表第1(第2条関係)

[別紙参照]

別表第2(第2条関係)

[別紙参照]

別表第3(第2条関係)

[別紙参照]

別表第4(第2条関係)

[別紙参照]

別表第5(第7条関係)

[別紙参照]

別表第1 (第2条第1項関係)

授業科目の名称		授業 を行う 年次	単位数			摘 要
			修論コース	高度実践 看護コース	助産師養成 コース	
共通科目	看護研究	1	2	2 ^{*2}	2	修士論文コース 4単位以上を選択 *5の科目を選択する場合は 事前に担当教員に相談すること (がん予防医学研究領域を選択する場合) がん遺伝/ゲノム看護を含む 4単位以上を選択 高度実践看護コース *2の科目について8単位以上を選択、 *3の科目について6単位以上を選択。 助産師養成コース 看護研究・看護教育論を必修選択とし、4単位以上を選択
	看護教育論*6	1	2	2 ^{*2}	2	
	看護理論*1	1	2	2 ^{*2}	2	
	看護倫理*1	1	2	2 ^{*2}	2	
	看護政策論	1	2	2 ^{*2}	2	
	看護管理	1	2	2 ^{*2}	2	
	看護コンサルテーション論	1	2	2 ^{*2}	2	
	フィジカルアセスメント	1	2	2 ^{*3}	2	
	病態生理学	1	2	2 ^{*3}	2	
	臨床薬理学	1	2	2 ^{*3}	2	
	免疫学	1	2	2 ^{*3}	2	
	病態研究方法論	1	2	2 ^{*3}	2	
がん遺伝/ゲノム看護	1	2 ^{*5}				
基礎看護学	基礎看護学特論*1	1	4			修士論文コース (1) 専門分野のうち主 領域の特論及び演習 の8単位を選択 (2) (1)で選択した以外 の特論4単位以上を 選択。 (3) 特別研究14単位を 必修
	基礎看護学演習	1・2	4			
	健康科学特論	1	4			
	健康科学演習	1・2	4			
	看護教育学特論	1	4			
	看護教育学演習	1・2	4			
	看護教育学特論I*6	1		2		
	看護教育学特論II	1		2		
	看護教育学特論III	1		2		
	看護教育学演習I	1		2		
	看護教育学演習II	1		2		
	看護教育学演習III	2		2		
看護教育学実習	2		10			
看護教育学課題研究	2		4			
成熟期看護学	成人看護学特論	1	4			(がん予防医学研究領域を選択する場合) (1) 成人看護学特論・ 成人看護学演習を必修 (2) 成人看護学特論以外 の特論4単位以上を 選択 (3) 特別研究14単位を 必修
	成人看護学演習	1・2	4			
	老人看護学特論	1	4			
	老人看護学演習	1・2	4			
	高齢者看護学特論I	1		2		
	高齢者看護学特論II	1		2		
	高齢者看護学特論III	1		2		
	高齢者看護学特論IV	1		2		
	高齢者看護学特論V	2		2		
	高齢者看護学演習I	1		2		
	高齢者看護学演習II	2		2		
	高齢者看護学実習I	1		6		
高齢者看護学実習II	2		4			
高齢者看護学課題研究	2		4			
成育看護学	母性看護学特論	1	4			
	母性看護学演習	1・2	4			
	小児看護学特論	1	4			
	小児看護学演習	1・2	4			
広域看護学	地域看護学特論	1	4			高度実践看護コース (1) 老年看護は成熟期看護学分野の専門科目から28単位を必修 (2) 精神看護は広域看護学分野の専門科目から26単位を必修、同専門科目の*4の科目のうち2単位を選択必修の合計28単位を必修 (3) 看護教育学は基礎看護学分野の専門科目から26単位を必修
	地域看護学演習	1・2	4			
	精神看護学特論	1	4			
	精神看護学演習	1・2	4			
	精神看護学高度実践特論I	1		2		
	精神看護学高度実践特論II	1		2		
	精神看護学高度実践特論III	1		2		
	精神看護学高度実践特論IV	1		2		
	リエゾン精神看護論	1		2 ^{*4}		
	慢性期精神看護論	1		2 ^{*4}		
	精神看護学高度実践演習I	1		2		
	精神看護学高度実践演習II	1		2		
	精神看護学高度実践実習I	2		1		
	精神看護学高度実践実習II	2		2		
	精神看護学高度実践実習III	2		4		
	精神看護学高度実践実習IV	2		2		
精神看護学高度実践実習V	2		1			
精神看護学課題研究	2		4			
助産学	助産学特論I	1			2	助産師養成コース (1) 57単位を必修
	助産学特論II	1			2	
	助産学特論III	1			3	
	助産学特論IV	2			1	
	助産学特論V	1			3	
	助産学特論VI	1			2	
	助産学特論VII	1			2	
	助産学特論VIII	1			3	
	助産学特論IX	2			2	
	助産学演習I	1			3	
	助産学演習II	1・2			3	
	助産学実習I	1			11	
	助産学実習II	1・2			5	
	助産学実習III	2			6	
	助産学実習IV	2			3	
	助産学実習V	2			1	
助産学研究	1			1		
助産学課題研究	2			4		
特別研究	2	14				

*1 基礎看護学特論には、看護理論2単位及び看護倫理2単位を含む(基礎看護学特論を履修しようとする者は、看護理論、看護倫理を選択できない)。

*6 看護教育学特論Iを履修しようとする者は、看護教育論を選択できない。

別表第2 (第2条第1項関係)

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			適用
			必修	選択	自由	
共通科目	看護学研究方法論	1	1			履修方法 (1) 看護学研究方法論を履修する。 (2) 共通科目の選択科目を2単位以上履修する。 (3) 専門科目の特講及び特別演習を各2単位履修する。 (4) 特別研究を履修する。
	医療倫理学	1		2		
	行動神経科学	1		2		
	医学統計学	1		2		
	疫学方法論	1・2		2		
専門科目	基盤・成熟期看護学	基礎看護学特講	1		2	修了要件 原則として3年以上在学し、13単位以上修得し、必要な研究指導を受けた上、博士後期課程の目的に応じ、博士論文についての研究の成果の審査及び試験に合格すること。
		基礎看護学特別演習	1		2	
		健康科学特講	1		2	
		健康科学特別演習	1		2	
	成人看護学	成人看護学特講	1		2	
		成人看護学特別演習	1		2	
		高齢者看護学特講	1		2	
		高齢者看護学特別演習	1		2	
	育成・広域看護学	リプロダクティブヘルス看護学特講	1		2	
		リプロダクティブヘルス看護学特別演習	1		2	
		小児看護学特講	1		2	
		小児看護学特別演習	1		2	
		地域看護学特講	1		2	
		地域看護学特別演習	1		2	
精神看護学特講		1		2		
精神看護学特別演習		1		2		
	特別研究	1-3	6			

別表第3 (第2条第1項関係)

	授業科目の名称	配当年次	単位数		備考	摘要
			選択必修	選択		
共通科目	先端基礎医学特論	1・2・3	2			<p>履修方法</p> <p>研究者コース</p> <p>(1) 先端基礎医学特論を必修とする。</p> <p>(2) 共通科目及び専門科目のうち、備考欄*印の科目を4科目以上選択必修とする。</p> <p>(3) 専門科目のうち、各研究分野の科目のセミナーA,B各々1科目を必修とする。</p> <p>(4) 専門科目のうち、各研究分野の科目の実習を履修する。</p> <p>臨床研究者コース</p> <p>(1) 先端医学特論I, IIを必修とする。</p> <p>(2) 共通科目のうち医療倫理学及び遺伝子医療と再生医療を必修とする。</p> <p>(3) 共通科目のうち、2単位以上を履修する。</p> <p>(4) 専門科目のうち、各研究分野の科目のセミナーA, B各々1科目を必修とする。</p> <p>(5) 専門科目のうち、各研究分野の科目の実習を履修する。</p> <p>(6) 本学以外の病院所属の副指導教員を置く者については、専門科目のうち、その他のセミナー及び実習各々1科目を履修する。</p> <p>次世代腫瘍医学コース</p> <p>(1) 次世代腫瘍医学特論、先端医学特論Iを必修とする。</p> <p>(2) 共通科目のうち、3科目(6単位)以上履修する。</p> <p>(3) 専門科目のうち、がん治療を学び研究する講座が開講する科目のセミナーA, B, 実習の各々1科目を必修とする。</p> <p>がん予防医学研究コース</p> <p>(1) がん予防医学特論, 先端医学特論Iを必修とする。</p> <p>(2) 共通科目のうち、3科目(6単位)以上履修する。</p> <p>(3) 専門科目のうち、がん治療を学び研究する講座が開講する科目のセミナーA, B, 実習の各々1科目を必修とする。</p> <p>新規がん治療開発コース</p> <p>(1) 新規がん治療特論, 先端基礎医学特論を必修とする。</p> <p>(2) 共通科目及び専門科目のうち、備考欄*印の科目を3科目(6単位)以上履修する。</p> <p>(3) 専門科目のうち、がん治療を学び研究する講座が開講する科目のセミナーA, B, 実習の各々1科目を必修とする。</p> <p>修了要件</p> <p>4年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格しなければならない。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を挙げた者については、3年以上在学すれば足りるものとする。</p>
	細胞内シグナル伝達学	1・2	2		*	
	光医学実験講習	1・2	2		*	
	蛋白質研究法	1・2	2		*	
	次世代シーケンス解析法	1・2	2		*	
	行動神経科学	1・2	2		*	
	バイオエレクトロニクス・バイオセンシング特論	1・2	2		*	
	有機化合物の分離と同定	1・2	2		*	
	医学統計学	1・2	2		*	
	疫学方法論	1・2	2		*	
	動物実験の技法	1・2	2		*	
	実験機器の機能と使用法	1・2	2		*	
	先端医学特論I	1・2・3	2			
	先端医学特論II	1・2・3	2			
	医療倫理学	1・2	2			
	遺伝子医療と再生医療	1・2	2			
	研究の進め方と論文作成法	1・2		2		
	プレゼンテーション技法	1・2		2		
	カダバーサージカルトレーニング実習	1・2・3		1		
	次世代腫瘍医学特論	1・2・3	2			
がん予防医学特論	1・2・3	2				
新規がん治療特論	1・2・3	2				
授業科目の概要	神経生理学	1・2	2		*	<p>がん予防医学研究コース</p> <p>(1) がん予防医学特論, 先端医学特論Iを必修とする。</p> <p>(2) 共通科目のうち、3科目(6単位)以上履修する。</p> <p>(3) 専門科目のうち、がん治療を学び研究する講座が開講する科目のセミナーA, B, 実習の各々1科目を必修とする。</p> <p>新規がん治療開発コース</p> <p>(1) 新規がん治療特論, 先端基礎医学特論を必修とする。</p> <p>(2) 共通科目及び専門科目のうち、備考欄*印の科目を3科目(6単位)以上履修する。</p> <p>(3) 専門科目のうち、がん治療を学び研究する講座が開講する科目のセミナーA, B, 実習の各々1科目を必修とする。</p> <p>修了要件</p> <p>4年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格しなければならない。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を挙げた者については、3年以上在学すれば足りるものとする。</p>
	循環生理学	1・2	2		*	
	組織幹細胞病理学	1・2	2		*	
	薬理学	1・2	2		*	
	PET学	1・2	2		*	
	光医学トランスレーショナルリサーチと社会実装	1・2	2		*	
	薬理学セミナーA	2	6			
	薬理学セミナーB	3	6			
	薬理学実習	1~3	8			
	分子イメージングセミナーA	2	6			
	分子イメージングセミナーB	3	6			
	分子イメージング実習	1~3	8			
	放射線医学セミナーA	2	6			
	放射線医学セミナーB	3	6			
	放射線医学実習	1~3	8			
	臨床薬理学セミナーA	2	6			
	臨床薬理学セミナーB	3	6			
	臨床薬理学実習	1~3	8			
	医療化学セミナーA	2	6			
	医療化学セミナーB	3	6			
	医療化学実習	1~3	8			
	薬剤学セミナーA	2	6			
	薬剤学セミナーB	3	6			
	薬剤学実習	1~3	8			
	皮膚科学セミナーA	2	6			
	皮膚科学セミナーB	3	6			
	皮膚科学実習	1~3	8			
	眼科学セミナーA	2	6			
	眼科学セミナーB	3	6			
	眼科学実習	1~3	8			
	上部消化管外科学セミナーA	2	6			
	上部消化管外科学セミナーB	3	6			
	上部消化管外科学実習	1~3	8			
下部消化管外科学セミナーA	2	6				
下部消化管外科学セミナーB	3	6				
下部消化管外科学実習	1~3	8				
肝・胆・膵外科学セミナーA	2	6				
肝・胆・膵外科学セミナーB	3	6				
肝・胆・膵外科学実習	1~3	8				
血管外科学セミナーA	2	6				
血管外科学セミナーB	3	6				
血管外科学実習	1~3	8				
歯科口腔外科学セミナーA	2	6				
歯科口腔外科学セミナーB	3	6				
歯科口腔外科学実習	1~3	8				
循環器内科学セミナーA	2	6				
循環器内科学セミナーB	3	6				
循環器内科学実習	1~3	8				
血液内科学セミナーA	2	6				

	血液内科学セミナーB	3	6			
	血液内科学実習	1～3	8			
	免疫・リウマチ内科学セミナーA	2	6			
	免疫・リウマチ内科学セミナーB	3	6			
	免疫・リウマチ内科学実習	1～3	8			
	血液循環生理学セミナーA	2	6			
	血液循環生理学セミナーB	3	6			
	血液循環生理学実習	1～3	8			
	神経生理学セミナーA	2	6			
	神経生理学セミナーB	3	6			
	神経生理学実習	1～3	8			
	幹細胞病理学セミナーA	2	6			
	幹細胞病理学セミナーB	3	6			
	幹細胞病理学実習	1～3	8			
	脳機能イメージングセミナーA	2	6			
	脳機能イメージングセミナーB	3	6			
	脳機能イメージング実習	1～3	8			
	細胞生物学セミナー	2	6			
	システム分子解剖学セミナー	3	6			
	細胞生物学実習	1～3	8			
	光生体医工学セミナーA	2	6			
	光生体医工学セミナーB	3	6			
	光生体医工学実習	1～3	8			
	生体計測工学セミナーA	2	6			
	生体計測工学セミナーB	3	6			
	生体計測工学実習	1～3	8			
	光神経イメージングセミナーA	2	6			
	光神経イメージングセミナーB	3	6			
	光神経イメージング実習	1～3	8			
	授業科目の名称	配当年次	単位数		備考	摘要
			選択必修	選択		
高次機能医学研究分野	神経解剖学	1・2	2		*	
	神経解剖学セミナーA	2	6			
	神経解剖学セミナーB	3	6			
	神経解剖学実習	1～3	8			
	行動神経科学セミナーA	2	6			
	行動神経科学セミナーB	3	6			
	行動神経科学実習	1～3	8			
	精神医学セミナーA	2	6			
	精神医学セミナーB	3	6			
	精神医学実習	1～3	8			
	脳神経外科学セミナーA	2	6			
	脳神経外科学セミナーB	3	6			
	脳神経外科学実習	1～3	8			
	整形外科学セミナーA	2	6			
	整形外科学セミナーB	3	6			
	整形外科学実習	1～3	8			
	麻酔蘇生科学セミナーA	2	6			
	麻酔蘇生科学セミナーB	3	6			
	麻酔蘇生科学実習	1～3	8			
	耳鼻咽喉科学セミナーA	2	6			
	耳鼻咽喉科学セミナーB	3	6			
	耳鼻咽喉科学実習	1～3	8			
	形成外科学セミナーA	2	6			
	形成外科学セミナーB	3	6			
	形成外科学実習	1～3	8			
	脳神経内科学セミナーA	2	6			
	脳神経内科学セミナーB	3	6			
	脳神経内科学実習	1～3	8			
リハビリテーション医学セミナーA	2	6				
リハビリテーション医学セミナーB	3	6				
リハビリテーション医学実習	1～3	8				
授	腫瘍学	1・2	2		*	
	分子細胞生物化学セミナーA	2	6			
	分子細胞生物化学セミナーB	3	6			
	分子細胞生物化学実習	1～3	8			
	腫瘍病理学セミナーA	2	6			
	腫瘍病理学セミナーB	3	6			
	腫瘍病理学実習	1～3	8			
	臨床腫瘍学セミナーA	2	6			
	臨床腫瘍学セミナーB	3	6			
	臨床腫瘍学実習	1～3	8			
	分子医科学セミナーA	2	6			
	分子医科学セミナーB	3	6			
分子医科学実習	1～3	8				

業 科 専 目 門 科 の 目 概 要	病態 医学 研究 分野	代謝シグナリング学セミナーA	2	6			
		代謝シグナリング学セミナーB	3	6			
		代謝シグナリング学実習	1～3	8			
		幹細胞・再生医学セミナーA	2	6			
		幹細胞・再生医学セミナーB	3	6			
		幹細胞・再生医学実習	1～3	8			
		産婦人科学セミナーA	2	6			
		産婦人科学セミナーB	3	6			
		産婦人科学実習	1～3	8			
		小児科学セミナーA	2	6			
		小児科学セミナーB	3	6			
		小児科学実習	1～3	8			
		消化器内科学セミナーA	2	6			
		消化器内科学セミナーB	3	6			
		消化器内科学実習	1～3	8			
		腎臓内科学セミナーA	2	6			
		腎臓内科学セミナーB	3	6			
		腎臓内科学実習	1～3	8			
		内分泌・代謝内科学セミナーA	2	6			
		内分泌・代謝内科学セミナーB	3	6			
		内分泌・代謝内科学実習	1～3	8			
		呼吸器内科学セミナーA	2	6			
		呼吸器内科学セミナーB	3	6			
		呼吸器内科学実習	1～3	8			
		肝臓内科学セミナーA	2	6			
		肝臓内科学セミナーB	3	6			
		肝臓内科学実習	1～3	8			
		心臓血管外科学セミナーA	2	6			
		心臓血管外科学セミナーB	3	6			
		心臓血管外科学実習	1～3	8			
		呼吸器外科学セミナーA	2	6			
		呼吸器外科学セミナーB	3	6			
		呼吸器外科学実習	1～3	8			
		小児外科学セミナーA	2	6			
		小児外科学セミナーB	3	6			
		小児外科学実習	1～3	8			
		乳腺外科学セミナーA	2	6			
		乳腺外科学セミナーB	3	6			
		乳腺外科学実習	1～3	8			
		一般外科学セミナーA	2	6			
		一般外科学セミナーB	3	6			
		一般外科学実習	1～3	8			
		泌尿器科学セミナーA	2	6			
		泌尿器科学セミナーB	3	6			
		泌尿器科学実習	1～3	8			
		放射線腫瘍学セミナーA	2	6			
		放射線腫瘍学セミナーB	3	6			
		放射線腫瘍学実習	1～3	8			
		予 防 ・ 防 御 医 学 研 究 分 野	医療事故，医療過誤	1・2	2		*
			感染機構解析セミナーA	2	6		
			感染機構解析セミナーB	3	6		
			感染機構解析実習	1～3	8		
			健康社会医学セミナーA	2	6		
			健康社会医学セミナーB	3	6		
			健康社会医学実習	1～3	8		
			救急医学セミナーA	2	6		
			救急医学セミナーB	3	6		
			救急医学実習	1～3	8		
		分 野 専 門 ブ	がんプロフェッショナルセミナーA	2	6		
			がんプロフェッショナルセミナーB	3	6		
			がんプロフェッショナル実習	1～3	8		
授業科目の名称		配当年次	単位数		備考	摘 要	
			選択必修	選択			
総合診療内科学セミナー		1～3	12		その他 (A)については、聖隷浜松病院所属の副指導教員を置く場合に履修する。		
総合診療内科学実習		1～3	8				
呼吸器内科学セミナー		1～3	12				
呼吸器内科学実習		1～3	8				
消化器内科学セミナー		1～3	12				
消化器内科学実習		1～3	8				
膠原病学セミナー		1～3	12				
膠原病学実習		1～3	8				
腎臓内科学セミナー		1～3	12				

授 業 科 専 門 目 科 の 目 概 要	その他 (A)	腎臓内科実習	1～3	8		
		内分泌代謝学セミナー	1～3	12		
		内分泌代謝学実習	1～3	8		
		脳卒中学セミナー	1～3	12		
		脳卒中学実習	1～3	8		
		神経内科学セミナー	1～3	12		
		神経内科学実習	1～3	8		
		循環器内科学セミナー	1～3	12		
		循環器内科実習	1～3	8		
		心臓血管外科学セミナー	1～3	12		
		心臓血管外科学実習	1～3	8		
		外科学セミナー	1～3	12		
		外科学実習	1～3	8		
		産婦人科学セミナー	1～3	12		
		産婦人科学実習	1～3	8		
		小児科学セミナー	1～3	12		
		小児科学実習	1～3	8		
		小児循環器科学セミナー	1～3	12		
		小児循環器科学実習	1～3	8		
		新生児科学セミナー	1～3	12		
		新生児科学実習	1～3	8		
		脳神経外科学セミナー	1～3	12		
		脳神経外科学実習	1～3	8		
		てんかん学セミナー	1～3	12		
		てんかん学実習	1～3	8		
		リハビリテーション医学セミナー	1～3	12		
		リハビリテーション医学実習	1～3	8		
		泌尿器科学セミナー	1～3	12		
		泌尿器科学実習	1～3	8		
		放射線画像診断学セミナー	1～3	12		
		放射線画像診断学実習	1～3	8		
病理診断学セミナー	1～3	12				
病理診断学実習	1～3	8				
臨床検査医学セミナー	1～3	12				
臨床検査医学実習	1～3	8				
小児神経科学セミナー	1～3	12				
小児神経科学実習	1～3	8				
整形外科学セミナー	1～3	12				
整形外科学実習	1～3	8				
その他 (B)	ホスピス科学セミナー	1～3	12		その他 (B)については、聖隷三方原病院所属の副指導教員を置く場合に履修する。	
	ホスピス科学実習	1～3	8			
	リハビリテーション科学セミナー	1～3	12			
	リハビリテーション科学実習	1～3	8			
	外科学セミナー	1～3	12			
	外科学実習	1～3	8			
	緩和支援治療科学セミナー	1～3	12			
	緩和支援治療科学実習	1～3	8			
	肝臓内科学セミナー	1～3	12			
	肝臓内科学実習	1～3	8			
	呼吸器内科学セミナー	1～3	12			
	呼吸器内科学実習	1～3	8			
	産婦人科学セミナー	1～3	12			
	産婦人科学実習	1～3	8			
	耳鼻科学セミナー	1～3	12			
	耳鼻科学実習	1～3	8			
	循環器科学セミナー	1～3	12			
	循環器科学実習	1～3	8			
	小児科学セミナー	1～3	12			
	小児科学実習	1～3	8			
	消化器内科学セミナー	1～3	12			
	消化器内科学実習	1～3	8			
	心臓血管外科学セミナー	1～3	12			
	心臓血管外科学実習	1～3	8			
	神経内科学セミナー	1～3	12			
	神経内科学実習	1～3	8			
	腎臓内科学セミナー	1～3	12			
	腎臓内科学実習	1～3	8			
	総合診療内科学セミナー	1～3	12			
	総合診療内科学実習	1～3	8			
	内分泌代謝科学セミナー	1～3	12			
内分泌代謝科学実習	1～3	8				
脳神経外科学セミナー	1～3	12				
脳神経外科学実習	1～3	8				
脳卒中学セミナー	1～3	12				
脳卒中学実習	1～3	8				

	皮膚科学セミナー	1～3	12		
	皮膚科学実習	1～3	8		
	病理診断科学セミナー	1～3	12		
	病理診断科学実習	1～3	8		
	放射線科学セミナー	1～3	12		
	放射線科学実習	1～3	8		
	麻酔科学セミナー	1～3	12		
	麻酔科学実習	1～3	8		
	臨床検査科学セミナー	1～3	12		
	臨床検査科学実習	1～3	8		

別表第4（第2条関係）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		開設大学	摘 要
			必修	選択		
専攻共通科目	光子・電子のナノサイエンスと応用	1前		2	静岡大学	履修方法 (1) 専攻共通科目から4単位以上、基礎科目から4単位、専門科目から必修科目である特別研究8単位及び特別演習2単位を含めた14単位以上を履修するものとする。 (2) 基礎科目は、医工学概論A、Bのうち、いずれか1科目を修得すること。
	先端基礎医学特論	1前		2	浜松医科大学	
	科学技術英語コミュニケーションⅠ	1前		1	静岡大学	
	科学技術英語コミュニケーションⅡ	1後		1	静岡大学	
	生体構造・機能解析	1後		2	浜松医科大学	
	科学技術文書表現法	2前		1	静岡大学	
	研究インターンシップ	2前		2	静岡大・浜医大	
	光医学トランスレーショナルリサーチと社会実装	2通年		2	浜松医科大学	
	医療・生物統計学	2後		2	浜松医科大学	
医工学知的財産・起業論	2後		2	静岡大学		
基礎科目	医工学概論A	1前		2	浜松医科大学	修了要件
	医工学概論B	1前		2	静岡大学	
	医療研究概論	1前	2		浜松医科大学	
専門科目	光医用センシング・画像科学	ナノフォトニクス	1後	2	静岡大学	光医学共同専攻に3年以上在学し、24単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、2年以上在学すれば足りるものとする。
		ナノエレクトロニクス	1後	2	静岡大学	
		病態・疾病学	1・2前 ^{*2}	2	浜松医科大学	
	光医用デバイス・機器工学	メディカル生体情報処理学	2前	2	浜松医科大学	
		イメージングデバイス	1後	2	静岡大学	
		生体計測・情報システム	1後	2	静岡大学	
		イメージングシステム	2前	2	静岡大学	
特別演習・特別研究	医薬品・医療機器開発概論	2後	2	浜松医科大学		
	光医学特別演習	1後	2	静岡大・浜医大		
	光医学特別研究	2～3通年 ^{*1}	8	静岡大・浜医大		

*1 光医学特別研究における配当年次について、優れた研究業績を上げ修了する場合は、この限りではない。

*2 隔年開講とする。

別表第5

(第7条(1)及び(2)関係)

1単位当たりの授業時間数	
講義	15時間
演習	30時間
実験・実習・実技	45時間

(第7条(3)関係)

【講義、演習、実験、実習及び実技を併用する場合】

$$ax + by + cz = 45\text{時間}$$

この場合の a、b、c、x、y 及び z は次のとおりとする。

- a: 1単位の授業科目を構成する内容の学修に必要とされる時間数の45時間を第7条(1)に定める授業時間数で除して得た数値
- b: 同じく45時間を同上(1)に定める授業時間数で除して得た数値
- c: 同じく45時間を同上(2)に定める授業時間数で除して得た数値
- x: 実際に行う講義の授業時間数
- y: 実際に行う演習の授業時間数
- z: 実際に行う実験、実習または実技の授業時間数